

科目名	現代文B		学年	普通					必/選	単位数
				国文	普通		理進	体育		
			3	○	○		○	○	必修	3
科目の目標	明治以降の様々な文章を読み、基本的な語彙を身につけられるようにする。また、その上で必要な情報を選択したり、他者と関わりながら、課題を見つけその解決にむけて取り組んだりすることができるようにする。									
授業・学習の進め方	授業は教科書を中心に進め、様々な学習活動を通じて理解力を深めていく。意見や感想を文章にまとめたり、発表したりする機会を増やし、学んだことを定着していけるようにする。									
教材	「新編現代文B」(数研出版) 「書いて覚える漢字練習ノート」(京都書房) 「プレミアムカラー 国語便覧」(数研出版)									
成績・評価について	次の5つの観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解									
年間の学習内容・学習のねらい・観点										
月	学習内容	考査	学習のねらい	観点						
				1	2	3	4	5		
4	●随想 「初めに世界があると知る」 (角田光代)	中間	●自身の経験とそこから学んだことについて整理して、文章として他者に伝えることができる。	○	○	○	○			
5	●小説 「無用の人」 (原田マハ)		●登場人物の印象の変化や情景描写が伝えようとしているものについて理解し、自身が抱いた感想を、理由と合わせて説明できる。	○	○	○	○			
6	●小説 「こころ」(夏目漱石)		○読解力や論述力を見る	○		○	○	○		
			●日本文化や伝統的な価値観について理解を深め、自分の生活と関連させて話すことができる。	○	○	○	○	○		
			●登場人物の抱える苦悩と孤独を読み解き、自己理解を深める。	○		○	○	○		
			○読解力や論述力を見る	○		○	○	○		
7	●詩 「永訣の朝」 (宮沢賢治)	期末	●表現の工夫と意図を理解し、効果的な表現方法について理解を深める。	○		○		○		
9	●評論 「文化としての色」 (港千尋)		●日本文化や伝統的な価値観について理解を深め、自分の生活と関連させて話すことができる。	○		○	○	○		

年間の学習内容・学習のねらい・観点								
月	学習内容	考査	学習のねらい	観点				
				1	2	3	4	5
10	●随想 「弱いつながり」 (東浩紀)	中間	●筆者の意見を理解し、現代社会における問題について自分なりに見解を述べる ことができる。	○	○	○	○	
			○読解力や論述力を見る	○		○	○	○
11	●小説 「ひよこの眼」 (山田詠美)	期末	●主人公視点で描かれる物語の内容を理解し、自身現在の環境や価値観について、内省することができる。	○	○	○	○	○
	●「朝のヨット」 (山川方夫)		○登場人物の生き方や考え方を自己の問題として捉え、作品の主題について考えさせる。	○		○	○	○
12	●俳句・短歌		○読解力や論述力を見る	○		○	○	○
			●韻文や限られた字数における表現への理解を深め、自身の表現の幅を広げることができる。	○	○	○	○	
1	●評論 「ホンモノのおカネの 作り方」 (岩井克人)	学年末	●筆者が語る社会観を理解し、その上で自身と社会との今後の関わり方について、具体的に論じることができる。	○	○	○	○	
			○読解力や論述力を見る	○		○	○	○

科目名	古典B		学年	普通					必/選	単位数
				国文	普通		理進	体育		
			3	○	○				必修	2
科目の目標	古文や漢文を読む能力を養うとともに、古典を通してものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生が豊かになるような礎を築く。									
授業・学習の進め方	教科書の作品を味わうために、古典文法を身につける。その中で、現代に通ずる精神や文化を理解し、教養として身につけるようにする。また音読を重視し、古典特有のリズムや音韻に親しむ。									
教材	「新編古典B」（東京書籍） 「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）									
成績・評価について	次の3つの観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。 1 関心・意欲・態度 2 読む能力 3 知識・理解									
年間の学習内容・学習のねらい・観点										
月	学習内容	考查	学習のねらい	観点						
				1	2	3				
4	紀行文「奥の細道」 (松尾芭蕉) ・漂泊の思ひ ・旅立ち	中間	●紀行文に書かれた作者の思いを読み取り、各話において詠まれた句が表す心情をより正確に理解する。	○	○	○				
5	思想「孟子」「荀子」 ・不忍人之心 ・人之性悪		●前年に学んだ諸子百家の思想をより深く理解し、自分はどちらの考えに共感するかを自らの経験をふまえて話すことができる。	○	○	○				
6	日記「土佐日記」 (紀貫之) ・馬のはなむけ		●読解力と古語の知識に答える力を見る。	○	○	○				
6	史書「十八史略」 ・水魚の交わり	期末	●当時の様子を本文から読み取り整理した上で、他者にわかりやすく表現し直すことができる。	○	○	○				
7	随筆「小倉百人一首の世界」(あんの秀子)		●漢文の訓読、書き下し、など読解力を深める。	○	○	○				
7	随筆「小倉百人一首の世界」(あんの秀子)	●漢文の訓読、書き下しの知識について及び自らの意見を論述する力を見る。	○	○	○					
9	漢詩文「日本外史」 ・所争不在米塩 ・諸将服信玄		●韻文を通じて、日本語の美しさに触れ、古典の世界を理解する。	○	○	○				
9	漢詩文「日本外史」 ・所争不在米塩 ・諸将服信玄		●日本の歴史と合わせて本文を理解することで、日本語と漢文による印象や表現の差異について考察する。	○	○	○				

年間の学習内容・学習のねらい・観点						
月	学習内容	考查	学習のねらい	観点		
				1	2	3
10	・桂林荘雜詠示諸生 ・送夏目漱石之伊予 ・風流人未死	中間	●作者の心情を読み取り、日本の文学史や文化と漢詩の関係について知識を深める。	○	○	○
			●漢詩文の技法や表現について習得できているかより深く見る。	○	○	○
11	物語「源氏物語」 (紫式部) ・光源氏の誕生	期末	●当時の貴族社会に関する知識を身につけた上で物語の内容を理解することで、作品の特徴をより正確に理解する。	○	○	○
12	古文の窓 ・源氏物語の広がり  ご当地キャラクターと古典		●古典作品と日本の歴史について関連づけて考えることができるかを見る。	○	○	○
			●現代社会と古典世界のつながりについて、自分なりに関係や利用方法を考え出すことができる。	○	○	○
1	小説「世間胸算用」 (井原西鶴) ・蛸売りの八助	学年末	●町人文化に対する理解を深める。また、物語の内容について現代と比較しながら考察することができる。	○	○	○
			●古文に対する知識を見る。 現代社会と古典世界を比較して論じる力を見る。	○	○	○

科目名	国語表現	学年	普通				必/選	単位数
			国文	普通	理進	体育		
			3	○	△		△	必修/選択
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職や進学のための試験に備えて、形式の整った文章を書くことができる。</li> <li>・一般常識や常用漢字を習得し、自分の考えを文章で的確に表現できる。</li> <li>・客観的に自分を見つめ直し、卒業年度という節目に自分史として表現する。</li> </ul>							
授業・学習の進め方	副教材の「国語常識・作文」を用いて、感じと語彙力、文章の書き方を習得させる。 また、教科書のテーマに沿って文章法源の演習をし、知識や表現力を定着させる。 1・2学期で培った表現力を基に、3学期に自分史をまとめる。							
教材	「国語表現」(大修館書店) 「国語常識・作文ステップアップ」(数研出版)							
成績・評価について	次の4つの観点による評価を踏まえて、総合的に成績を決定する。 1 関心・意欲・態度(出席状況、授業への取り組み姿勢、課題の提出状況) 2 話す・聞く(指示や発問に対する理解、自分の意見や考えを発表する力の習得) 3 書く(正しい文章の書き方に則り、自分の考えを適切に表現する力の習得) 4 知識・理解(漢字・語彙・慣用句・ことわざなどの習得)							
年間の学習内容・学習のねらい・観点								
月	学習内容	考査	学習のねらい	観点				
				1	2	3	4	
4	・演習問題を利用し、基礎的な語彙力を身につける。	中間	・漢字の読み、書き、四字熟語、故事成語、文学史などを学習する。	○		○	○	
5	・教科書を利用し、実用的な文章の書き方の基本を学ぶ。		・原稿用紙の使い方、表現方法、文章の整え方などを習得する。	○		○	○	
6	・新聞などを利用し、現代社会の諸問題について自分の考えを書き、発表する。		・現代社会における様々な問題に対する興味 ・関心を喚起する。	○	○	○	○	
7	・各自の進路に応じて、「自己推薦書」や「作文」・「小論文」の基礎を学習する。	期末	・就職や進学に対処できる実践的な文章力を習得する。	○			○	
9	・各自の進路に応じて、「自己推薦書」や「作文」・「小論文」を完成させる。	期末	・自らを見つめ、事故の将来像を明確に表現する。	○		○	○	
10	・演習問題を利用し、発展的な語彙力を習得する。		・漢字の読み書き、四字熟語、故事成語、古典常識、時事用語などを習得する。	○			○	
11	・新聞などを利用し、現代社会の諸問題について考え、それを発表し、議論する。		・現代社会における様々な問題に対して自分の考えを形成する。	○	○	○	○	
12	・卒業課題「自分史」の作成(材料収集)		・これまでの自分の生き方を振り返るとともに、自らの将来を展望する。	○			○	
1	・卒業課題「自分史」を完成させる。		・自分の生き方を文章にまとめる。	○		○	○	

